

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390900039
事業所名	グループホーム名古屋熱田の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 開設から8年と熱田区でも古参となり地域に馴染んではいるものの、昨年の管理者交代とともに新たなスタートを切っています。喫茶レクリエーションを通して地元高齢者との静かなふれあいが重ねられ、神社の清掃ではお地蔵さんに手を合わせる利用者の姿も恒例となっており、周知が日々進んでいます。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族の出席率が少ないことは課題としてあるものの、法人内の他事業所の運営推進会議にも出向き、「いいことはどんどん真似しよう」と意欲的な姿勢をもっており、年6回の開催はつつがなく推進されています。また出席者を増やすためにも「充実した内容を」と、消防署、警察署、保健所などから有識者を招き入れ、講話や助言を得ています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 生活保護受給者の受入に伴い、担当部署とは密な連携もっています。また地域に起きた一住民の困難ケースを事業所が支援したことが契機となり、市役所や地域包括支援センターからは、課題のある人の相談事などが舞い込むようになっていて、事業所としても協力を惜しまず要望に応じています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 利用料の請求と受取りについて家族には毎月の来所をお願いしていて、月に1度はフェイスTOフェイスでの会話ももてるよう工夫があるとともに、面会の少ない家族にも「元気ですよ～」ということが伝わるよう、日々の写真も沢山撮っています。また利用者には、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援を以て、安心のなかで発語が増えるよう関わっています。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	○	○	○	○	○	◎	○	◎	